令和7年度　授業改善推進プラン　〈3年〉

小平市立小平第十五小学校

	伸ばしたい力	具体的な改善策	改善プランの評価方法
国語	書かれている内容を読み取り、自分の考えを発表することができる。	書かれている内容を言葉や図、イラスト等で表現したり、まとめたりする活動を通して、読み取る力を高めていく。考えを発表し合い、お互いの良さを認め合う活動を行う。	発言内容やノート、ワークシートの記述から評価する。
	習った漢字を使って、まとまりのある文章を書くことができる。	国語の小単元や作文を活用し、書くことへの意欲を高める。また、漢字小テストを継続して実施し、既習の漢字の定着を図る。	作文、ノート、プリント、テストなどで評価する。
社会	小平の様子や施設、農作業、仕事などに関心をもち調べることができる。	ねらいや視点を事前に全体で確認し、見学に行ったり、体験したりする活動を取り入れることで、地域に対する興味や関心を深める。	ワークシートや学習のまとめを中心に評価する。
	小平の人々の暮らしや仕事について考えたり、調べたりしたことを表現できる。	見学や体験を通して具体的に学べるように学習計画を立てる。見学や体験後、分かったことを新聞などにまとめる際、まとめ方を具体例を示しながら説明する。	発言内容、ワークシート、学習のまとめ新聞などを中心に評価する。
算数	四則計算を確実に解くこと、単位の換算、コンパスを使った作図、文章題、グラフの読み取りと活用ができる。	・宿題や朝学習などに学習者用端末等を活用し、継続して練習に取り組むことで学力の定着を図る。 ・特に、3けた×2けたの計算は確実にできるようにする。	プリントやドリル、ノート、ワークテスト、東京ベーシックドリル診断テストで評価する。
	問題を正しく読み取り、自分の考えをまとめたり表現したりして、課題を解決する。	・分かっていることや問われていることにマークをつけたり、図に表したりして、整理して考えるように指導する。また、見直しやたしかめ算を行うことでケアレスミスを防ぐ。 ・習熟度別の学習形態を取り入れ、問題提示の仕方や解決方法に結び付く声掛けを工夫する。	授業中の活動の様子や発言内容、ノートの記述やワークテストで評価する。
理科	身近にみられる昆虫や植物に興味をもち、観察することができる。	身の回りの生物を育てることで、生き物に対する興味や関心をもたせるようにする。	飼育の様子やノートの記述、観察カードなどで評価する。
	観察や実験を通して、分かったことや結果をまとめることができる。	観察する時は、見る視点を明確にし、観察の仕方を指導する。また、予想、実験、結果、考察の流れを押さえやすいノート作りの指導をする。	発言内容、観察カードやノートのまとめ方で評価する。
音楽	リコーダーの基礎的な技能を習得し、自信をもって表現できる。	リコーダーの基礎的な奏法を、視覚教材で示し、個人練習、ペア練習の練習時間を設けて、繰り返し練習することを通して確実に習得できるようにする。	児童の演奏の様子を観察し、ねらいに達しているかどうかを評価する。
	歌唱表現するための基礎的な力を身に付ける。	楽譜に記された記号に注目させ、身体を使って表す活動や友達と関わり合う活動を通して、曲の特徴を感じ取って言葉で表現する活動を取り入れる。	発言内容や活動の様子を観察し、ねらいに達しているかどうかを評価する。
図工	さまざまな材料に手や体全体で関わり、表し方を工夫していく。	様々な材料に触れて試す場面を設定し、それぞれの材料の特性に気付いたり、組み合わせの工夫を思い付いたりすることができるようにする。	児童の活動の様子、作品の製作過程、完成作品を評価する。
	友達の作品を見合い、そのよさに気付き、自分の言葉で表すことができる。	製作過程や完成した作品を見合う時間を設定し、感じたことを伝え合う活動を通して、自分の感じたことを言葉で表すことができるようにする。	児童の活動の様子、鑑賞プリントをもとに評価する。
体育	基本の運動の動きを身に付け楽しく運動することができる。	運動の特性を考えて運動量を確保する。 学習カードや掲示物で動きのコツや練習の仕方を示し、前時の振り返りに応じためあてを考えさせる。	学習カードや活動の様子で評価する。
	ルールを守り、協力してゲームに取り組む。	チームで話し合う時間を設定し、練習の仕方を工夫する。 チーム練習の時間をとり、教え合う場面を作る。	学習カードや活動の様子で評価する。
道徳	集団のきまりを守り、友達と協力し助け合うことができる。	教科書の資料や教材を効果的に提示し、みんなで考えを出し合った後、様々な考え方があることを知る。	学習中の様子や発言、児童のワークシート記述内容等から評価する。
	友達の個性を理解し、違いやよさを認めることができる。	友達のよさを見付ける活動を積極的に取り入れ、よい行動などを全体の場で紹介し、共有する機会を設ける。	学習中の様子や発言、児童のワークシート記述内容、他者の反応等の記録で評価する。
特活	学級の生活をよりよくするために、議題を見つけて話し合うことができる。	話し合いの仕方を指導し、小集団で話し合う場や、学級全体で意見を話し合う機会を増やす。	学級会（話合い活動）の様子で評価する。
	協力してよりよい学校生活を送ることができるように進んで活動することができる。	係活動や当番活動の内容を自主的に考えられるよう、話し合ったり、工夫したりする時間を設ける。	係活動の様子やふりかえりシートに書いた内容等で評価する。
総合	課題を見付け、問題を解決するために調べたり考えをまとめたりすることができる。	新聞やパンフレット等、実際の表現方法を例示することで、児童が自分の課題に適したまとめかたをイメージしやすくする。	活動の見取り、ワークシート、作品等で評価する。
	協力して調べ、多様な情報を収集することができる。	インターネット等で情報を集めるだけでなく、直接見たり聞いたりする体験活動を取り入れる。	活動の見取り、ワークシート、作品等で評価する。